第８号 院友大分

発　行
國學院大學院友会大分県支部
発行責任者　支部長 髙司信太郎
編集責任者　事務局 紀田　兼宣
(金鷹山若宮八幡社宮司)

〒873-0004 杵築市大字宮司336番地
電 話　0978-62-3148
FAX　0978-69-7035
E-mail : info@kintakayama.com
公式HP 金鷹山　若宮八幡社　検索

支部長挨拶



國學院大學院友会 大分県支部
支部長　髙司 信太郎
(79法・80神専攻)

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、院友の皆様の多大な活動の中に、文学部の竹内正彦教授による「光る君と光る源氏―源氏物語をいかに読むか―」の講演会が、NHK大河ドラマの人気のもとに期待されましたが、台風十号の通過により、講師派遣が中止されました。

残念なことでしたが、源氏物語の人気が消えるわけではありません。更に母校の文学の研究が進み、新たな学説のもとに、社会に期待される講演会が開催されることを祈っています。

今年は、金栗四三らが一九二〇年に創設した箱根駅伝から、一世紀余り、今年の正月に第一〇一回を迎えた、現存する最古の駅伝であります。

この箱根駅伝は、日本の風物詩として定着しています。

今大会の注目は、國學院大學です。出雲全日本大学選抜駅伝、そして全日本大学駅伝に優勝、そして今回三冠を目指すことになりました。

國學院大學は、前田康弘監督のもとで、無名選手が地道に、長い距離を走り込んで力をつけてきました。更に、平林清澄選手・山本歩夢選手ら、スピード豊かな高校トップ級の人材が集まり始め、距離の短い、長いにかかわらず、科学的トレーニングを研究、戦える強さを実証できる人材育成ができるようになったと言われています。

この度の箱根駅伝は、國學院大學悲願の初優勝を逃しましたが、過去最高順位タイの三位で、前田康弘監督は、『選手の意地や覚悟がすごく見えた』と感激の声を震わせました。

大学の応援団、チアガール、ブラスバンドなどが最終ゴールの大手町に陣取り、明るく元気に、力強く、応援ができたことは、選手の励み、声援を送る人々の励みになったことを付け加えておきます。

新しい年の始まりに、素晴らしい後輩学生たちの活躍にエールを送り、更なる関係者皆様の力を結集し、國學院大學の益々の発展に寄与できますよう、お祈り申し上げております。

更に、本年も院友諸氏のご健勝と益々のご活躍、これまで同様のお力添えをお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

謹みて新年の御祝詞を申し上げます

令和七年　元旦

〈院友大分第八号の目次〉

・支部長挨拶（1頁）
・國學院大學文学部教授
竹内正彦氏からのご寄稿について（2頁）
・令和六年秋の叙勲受章者のご報告（2頁）
・令和六年度 支部総会開催のご報告（3頁）
・広告協賛（3～4頁）

國學院大學院友会大分県支部役員一覧

役員

役職名	氏名	卒期
支部長	高司 信太郎	79
副支部長	塩月 洋二	87
	宮本 隆之	91
	萱島 祥彦	86
	實﨑 佑一	73
監事	三井 俊夫	82

顧問

役職名	氏名	卒期
顧問	野崎 邦康	71
	工藤 恒彦	75
	河野 景光	92

事務局

役職名	氏名	卒期
事務局長	神　大和男	107
事務局次長	横山 田鶴子	86
	紀田 兼宣	92
幹事	長山 義徳	79
	池田 晃治	86
	原　勝海	104
	園田 吉治	106

事務局

役職名	氏名	卒期
会計	後藤 尚子	96

地区役員

地区	氏名	卒期
中津	清水 勝彦	96
宇佐	丸山 信一	103
高田	山本 龍司	90
国東	岐部 準次	85
別府	河野 茂樹	86
杵日	紀田 兼宣	92
日田	橋本　敦	92
大野	佐保 光康	90
竹田	上島 弘二	75
臼津	佐藤 景郎	96
佐伯	矢野 大和	88
大分	實﨑 佑一	73

國學院大學文学部教授 竹内正彦氏からのご寄稿について

総会に合わせて予定された講演会は中止となりましたが 竹内先生から特別にご寄稿戴きました

三ページの記事にもありますように、八月三十一日の総会に併せて開催予定でありました國學院大學文学部教授竹内正彦氏の講演は、台風の影響で中止となりました。

しかしながら折角の機会でもありますので、講演会当日に竹内教授がご講演の予定でありました講演内容につき、『光る君と光る源氏―源氏物語をいかに読むか―』と題してご寄稿を賜りましたので、紙面をもちましてご紹介させて戴きます。

竹内先生におかれましては、時節柄お体には充分にご留意を戴きますと共に、次の機会には大分県にお越しを戴き、懇切なるご講演を賜りますようお願い申し上げます。

光る君と光る源氏
―源氏物語をいかに読むか―



國學院大學教授
竹内　正彦

◆はじめに

竹内正彦と申します。せっかくの機会をいただきながら、みなさまにお目にかかることができず、とても残念に存じております。今回は、紙面をお借りして、講演させていただく予定であった内容の一部をお話しさせていただければと存じます。

ＮＨＫ大河ドラマ「光る君へ」の「光る君」は、源氏物語の主人公である光源氏を強く意識したものであろうと思われます。たしかに光源氏は物語のなかで「光る君」と呼ばれています。しかし、一方で、光源氏は「光る源氏」とも呼ばれています。このふたつの呼称は、もちろん同じ人物をさしていますが、同じ資質を表すものではありません。このことは光源氏および源氏物語を考えるうえでとても重要な意味を持っています。

◆「光る君」としての光源氏

源氏物語は、光源氏が誕生する以前の物語から語りおこされます。どの帝の御代であったか、女御や更衣という帝の后たちが多くお仕えしていたなかで、帝がたったひとりの更衣を愛していたのだったとする書き出しはとても有名なものですが、源氏物語という物語のあり方を決定づけているという意味でも注目すべきものとなっています。

女御や更衣は、大臣家や大納言家などから入内した女性たちです。大臣や大納言といった男性貴族たちはその女性たちに皇子の誕生を期待しています。娘が生んだ皇子が帝になれば男性貴族は帝の母方の祖父となることができ、絶大な権力を手中にすることができたのでした。

このような後宮にあって、帝がたったひとりの女性を愛するということは許されるものではありませんでした。帝は身分に応じて愛する、つまり、身分が高い女性は重く愛し、身分が低い女性はそれなりに愛さねばならない。折口信夫は、女性たちを惹きつけ、それらの女性たちを満足させる「いろごのみ」が理想的な古代帝王のもつべき資質であったことを説いていますが、まさに帝は「いろごのみ」でなければならなかったのであり、それが帝に課せられた掟であったということができます。この掟を守ってこそ、帝は、男性貴族たち、ひいては国を治めることができたのです。後宮における帝の愛情は、まさに政治なのでした。

そうしたなか、帝はたったひとりの女性を愛します。その「反・いろごのみ」ともいえる愛によって帝は更衣を死の淵に追い込んでしまうことになるのでした。それでも愛せずにはいられなかった。これが源氏物語において最初に語られる光源氏の両親の愛の物語なのです。

こうした両親から生まれた光源氏もまた、藤壺というたったひとりの女性を強く愛するようになります。しかし、藤壺は、父桐壺帝の后であり、義理の母にあたる女性でした。光源氏が愛そうとしたたったひとりの女性は、けして愛してはいけない女性だったのです。

この「桐壺」巻で光源氏は「光る君」と呼ばれます。源氏物語における「光る君」の「光」は、美しいばかりではない、ある種のまがまがしさをも帯びたものだといえます。「光る君」は藤壺と密通を犯し、須磨・明石にさすらうこととなります。光源氏がたったひとりの女性を愛そうとすることから、独自の恋とさすらいの物語が切り拓かれていきます。「光る君」とは、そうした宿命を生きる光源氏を呼ぶ名であったということができるのです。

◆「光る源氏」としての光源氏

ところが、次の巻である「帚木」巻をひもとくと、光源氏は「光る君」ではなく、「光る源氏」と呼ばれます。「帚木」巻の冒頭は、「光る源氏」はその名ばかりが有名ではあるが、実は隠しておきたかった恋の話があるのだと語り出されます。ここで「光る源氏」と呼ばれる光源氏は、たったひとりの女性を愛する貴公子ではなく、多くの女性と浮き名を流す若き「いろごのみ」です。実際、「帚木」「空蟬」「夕顔」巻という「帚木三帖」で、光源氏は、空蟬、夕顔、末摘花といった女性たちと恋をしていきますが、ただその恋は失敗ともいえるものでしたので、そこに描かれるのは「いろごのみ」であろうとする光源氏というのが正確です。

空蟬とは一度は契りを結びますが、それ以降は、逃れられてしまいます。三度目に訪れた折は小袿だけを残して逃れられ、光源氏はむなしくその小袿を持ち帰ってそれを抱いて忍ぶしかありませんでした。また、光源氏は夕顔との恋に溺れますが、廃院で物の怪に取り憑かれて死んでしまいます。そして、末摘花は鼻が象の鼻のように垂れていて、先が赤くなっているという醜貌でした。

たったひとりの女性を愛しぬこうとする「光る君」としての光源氏と、「光る源氏」として「いろごのみ」であろうとする光源氏。初期の光源氏はそうした相反する資質を抱え込んでいる存在だということになります。

人間というのは、そもそも矛盾するものですが、源氏物語は、この矛盾というものを物語の方法としてじつにうまく取り込んでいるといえます。しかし、大切なことは、光源氏は、いずれの方向においても不完全な人物としてあり、また、その不完全であるがために、物語が大きく動いていくことになるということです。光源氏という存在そのものが、物語を導き、この巨大な物語世界をかたちづくっていくのです。

◆おわりに

光源氏は、「光る君」的なるものと、「光る源氏」的なるものを抱え、その間に揺れ動きながら、あり得るべき「いろごのみ」の姿を模索していくことになります。しかしそのことが多くの女性たちに苦悩をあたえていきます。光源氏は、結局、たったひとりの女性さえも幸せにできないのではないか。光源氏は、そうした根源的な問い直しにさらされながら、物語のなかに生きていくのです。

今回は要点だけのお話となってしまいましたが、またの機会にお目にかかれることをとても楽しみにしております。

令和六年秋の叙勲受章者のご報告

糸永正典氏と三浦享二氏のお二人が受章の栄に浴されました

令和六年秋の叙勲受章者が十一月三日付で発表され、大分県関係は六十二名の方々が受賞されました。

そのうち左記の二名の院友会支部員が受章の栄に浴されましたので、茲にご報告申し上げますと共に、お二人には今後共支部員各位の佳き先達として、我々支部員をご指導ご鞭撻与りますようお願い申し上げる次第にございます。

洵におめでとうございました。

瑞宝小綬章

糸永正典氏（七十歳）　八十五期　経
元公立高校長　別府市在住

瑞宝双光章

三浦享二氏（七十歳）　八十五期　経
元公立中学校長　大分市在住

令和六年度　支部総会開催のご報告

昨年の八月三十一日に大分市の大分センチュリーホテルにて開催
國學院大學文学部教授　竹内正彦氏の講演は台風の影響で中止に

令和六年八月三十一日、國學院大學院友会大分県支部の総会が大分市の大分センチュリーホテルにて開催されました。

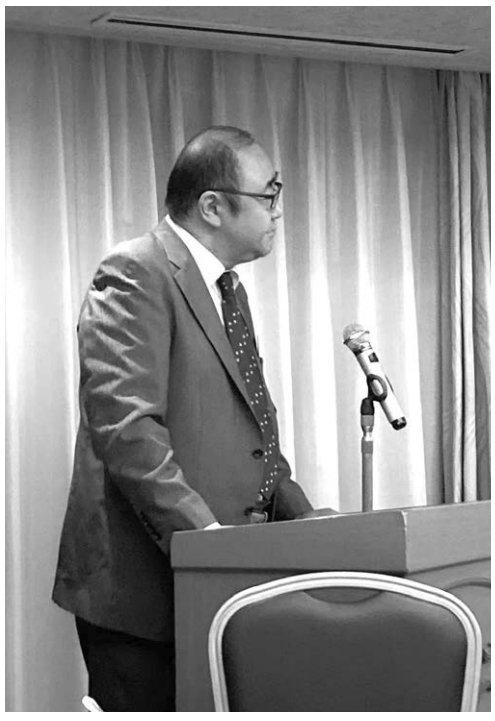
当日は好天でしたが前日までの台風の影響にて空路に影響が出てしまい、残念ながら当日予定されていた國學院大學文学部教授の竹内正彦氏の講演は中止となりました。また、参加予定であった会員も数名急遽不参加となるなどしたのは残念でした。

十六時半より総会が開催され、まずは令和五年度の活動報告及び令和六年度の活動計画（案）について協議され、その後に令和五年度の決算報告及び監査報告について協議され、これらは全て恙なく承認されました。その後、規約の一部改正が協議され、前年からの課題であった総会の議決の成立の方法や会員名簿の管理方法、役員の選出方法、賛助金のあり方などが一部見直され、全て可決されました。尚、予定されていた大学の現状報告及び院友会の現状報告は中止となりました。













八幡総本宮

宇佐神宮

872-0102
大分県宇佐市南宇佐 2859
TEL;0978-37-0001



別府総鎮守　別府温泉の守護神

八幡朝見神社

874-0812
大分県別府市朝見２丁目15番19号
TEL 0977-23-1408

ONIX
有限会社 明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ

有限会社 DAIHATSU ダイハツピット店
明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ
大分県大分市東津留2-9-22（花津留バス停前）
■営業時間：AM10：00～PM7：00　■定休日：火曜日
0120-81-3322

ともに生き！ともに喜ぶ
碧い海、蒼い空、青い木々
に包まれて…医療と福祉の街。
Hot Spring of Shiraume
別府湾リゾートホーム
医療対応型有料老人ホーム（訪問看護利用）
理事長　高司 信太郎（法79 神専80）
理　事　高司 智太郎（法114）

一般社団法人 青山医療福祉協会
別府湾リゾートホーム
〒874-0818 別府市浜脇山家 12組
tel.080-1537-4907（担当者）
ホーム tel.0977-27-1222　デイサービス tel.0977-27-1333　fax.0977-27-1334（共通）

【無縁社会をなくす運動】推進
私たちの理念は〝家族〟になること！

白梅の花
住宅型有料老人ホーム
●入居時に経済的にお困りの方の相談もお受けしています。
理事長　高司 信太郎（法79 神専80）
園　長　高司 信一郎（法109 神専110）
医療　＊主治医はそのままでも構いません。提携医院／原嶋内科医院（往診あり）
在宅酸素　透析　認知症　胃ろう　インシュリン　ほか
受入可能な方　＊原則、要介護の方の施設です。
生活保護
短期利用 体験入居（3,000円／日）
静かな住宅地の中にあります。


特定非営利活動法人 青山白梅会
住宅型有料老人ホーム 白梅の花
〒874-0901 別府市中島町11番25号 Tel 0977-24-2000
受付はいつでもOK! お気軽に! お役に立ちます。
080-1537-4907（担当／施設長）
ご希望があれば老人ホーム葬（軽費）いたします。＊火葬・霊柩車などの諸経費実費は別途必要になります。


企画
アイデア
湧いてます。
総合広告代理店
AB AGENT FOR BUSINESS
株式会社 エイエフビイ
〒870-0003
大分市生石4丁目1番20号大鉱ビル3F　℡097-535-0678
〈主な取扱媒体〉TV・ラジオ・新聞・看板・雑誌紙　等
實﨑 佑一（文史73）

株式会社 池田不動産
代表取締役　池田 晃治
〒879-0454 大分県宇佐市法鏡寺190-1　TEL 0978-33-1137